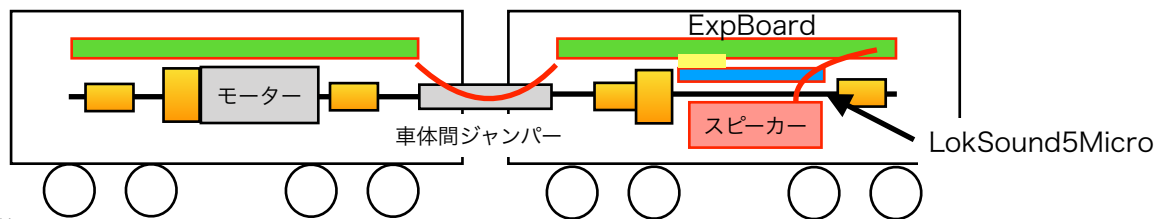


● 概要

EL-タイプHは、EH200などのKATOのH級電機をNEXT18規格のデコーダを使ってDCC化するためのアイテムです。デコーダ本体とスピーカーをモーター搭載車の反対側にすることで、全軸駆動のままサウンド化が可能です。さらに、基板上のパッドを使ってテールライト点灯も可能です。

車体側はモーター押さえ樹脂パーツのカットのみで、ボディやダイキャスト部品の切削は不要です。



● 仕様

外形	93mm×14mm×0.6mm (プリント基板分割前、電子部品を除く)
DCC入力	19Vmax (DCCデコーダの電源電圧範囲を超えない範囲でお使いください)
モータ出力	最大500mA (利用されるデコーダの最大電流以下でお使いください)
ヘッドライト	純正基板同様、ヘッドライトLED用パッドが準備されています。純正基板のLEDを移設することも可能です。
テールライト	AUX1端子やDC+端子を使って点灯することも可能です。詳細はデコーダの取り扱い説明書を参照ください。
別途準備いただくもの	R1,R2、LED(FNT1,FNT2) 2個 被覆電線 (車体間最大6本、スピーカー配線)

● 組み立て方法

①赤丸部にヘッドライト用LED(3φ電球色推奨),青丸部にチップ抵抗(2012サイズ 1~2kΩ)を取り付けてください。

上面図



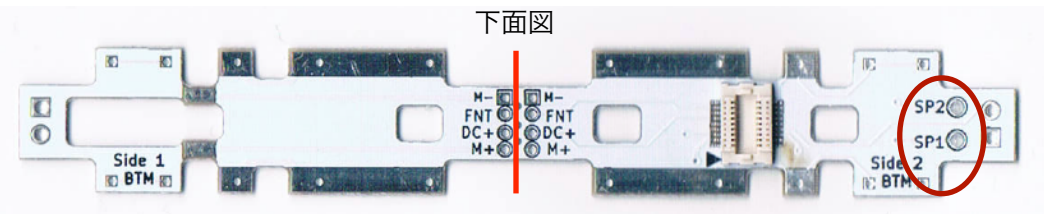
▲ヘッドライト用LED

"K"がカソード（マイナス側）です。

製品のLEDを再利用する場合は、リードを反対方向に曲げ直す必要があります。

②中央のミシン目にニッパを当ててカットし、端面を整えてください。

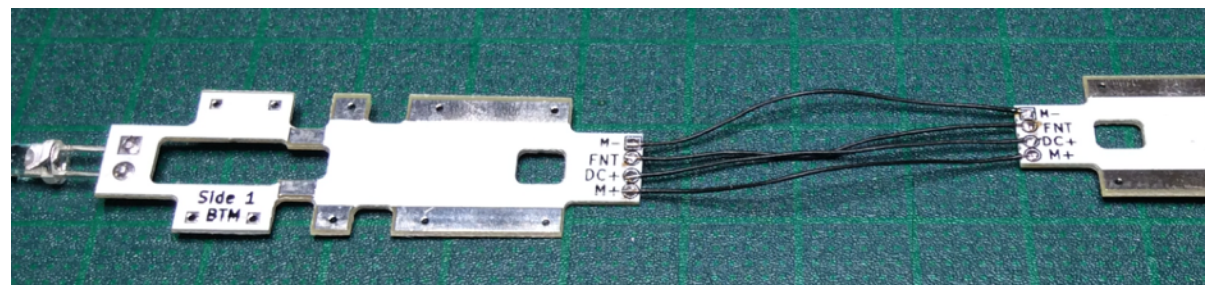
下面図



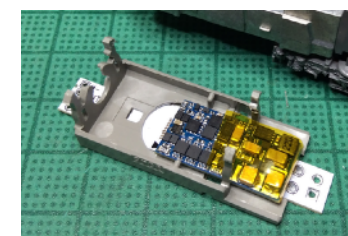
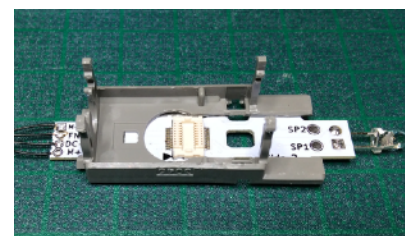
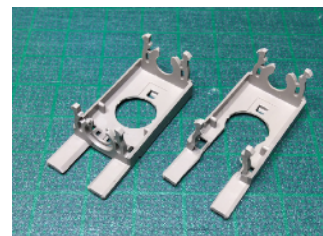
▲モーター用電極

▲スピーカーへの

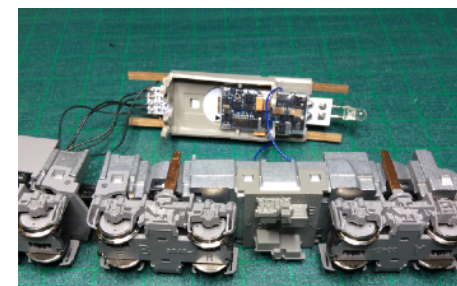
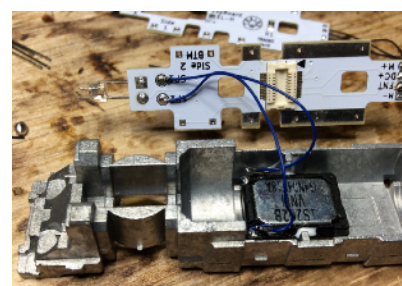
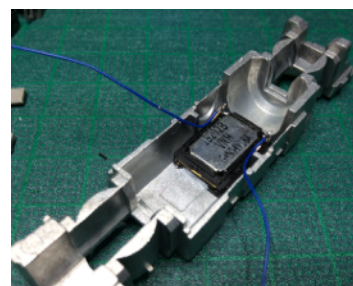
③細い被覆電線(AWG30前後)を使って、基板間を接続します。車両の動きに追従できる長さ（被覆部が35mm程度）にします。合わせて、レールからの集電板も繋ぐことを強くお勧めします。



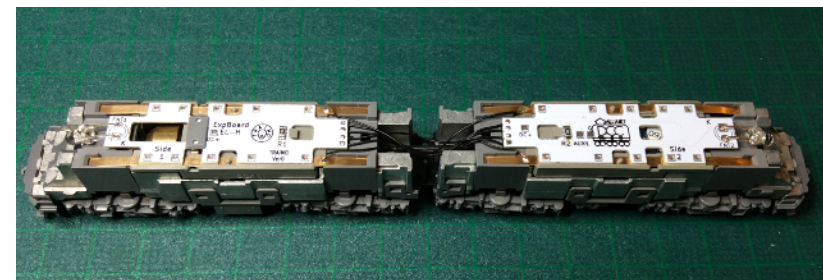
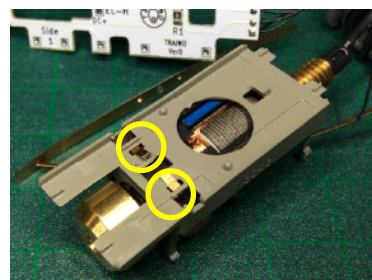
④モーターホルダーパーツの片方（モーターがない方のみ）を加工します。プリント基板とデコーダでこのパーツを挟み込むよう、写真を参考に、デザインナイフでカットしてください。様子を見ながら少しずつカットしてください。



⑤床下にスピーカー(15mm×11mm、nagodenさん頒布品推奨)を固定します。スピーカーとフライホイールやウオームの軸が当たらない様に調整してください。スピーカーからは5cmほどの配線を取り出し、EL-タイプHのSP1,SP2にはんだ付けします。



⑥モーターをモーターホルダから一度外し、端子板を内側の穴に通します。最後にモーターホルダ、集電板、EL-タイプHをダイキャストボディに戻してください。



⑦ボディを被せる前に走行、ライト点灯、サウンドを確認してください。問題なければ、ボディを被せて完成です。お疲れ様でした。

注意事項：

<https://desktopstation.net/wiki/doku.php/expboardecn>を参照願います。

何か商品にお気づきの点がございましたら、

traino@desktopstation.net にご連絡をお願いします。 2020-8-4 改番0